

世田谷246スポーツフェスティバルの実施について

1. 主旨

本年11月8日(日)に開催を予定していた第15回世田谷246ハーフマラソンについて、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況を踏まえ、世田谷246ハーフマラソン実行委員会において、大会の中止が決定された。

新型コロナウイルス感染症の影響により、全庁的に多くのイベントが中止となるなか、世田谷246ハーフマラソンなど各種スポーツイベントを楽しみにされている多くの区民の方々の要望に応え、次回の世田谷246ハーフマラソンの開催に繋げるため、コロナ禍においても実施可能な「新しい生活様式」を取り入れたイベントとして、「世田谷246スポーツフェスティバル」を公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と連携し実施する。

2. Withコロナにおけるスポーツイベント実施に向けた基本的な考え方

- (1) イベント参加者を把握するため、「事前申込制」と「会場への入退出管理が可能な場所(フェンス、壁等で囲われた空間)」での実施を基本とする。
- (2) オンラインツールの活用など、「新しい生活様式」を意識したイベント内容とする。
- (3) イベント会場における感染症対策を徹底する。(3密の回避、競技中以外のマスク着用等)
- (4) オフラインのイベントについては、感染症の拡大状況によっては内容の変更又は中止の判断を行う。

3. 内容

- (1) 世田谷246オンラインハーフマラソン
- (2) スポーツ体験会(駒沢オリンピック公園陸上競技場、第二球技場)

※詳細は「別紙1」のとおり

4. 概算経費

19,500千円

- ・オンラインハーフマラソンにかかる概算経費 10,200千円
(エントリー業務委託料、参加賞等)
- ・スポーツ体験会にかかる概算経費 9,300千円
(会場設営、LIVE配信、感染症対策等)

【参考】

第15回世田谷246ハーフマラソンの総経費 77,120千円

5. 今後のスケジュール

- | | |
|--------------------|----------------|
| ○9月7日(月)～30日(水) | オンラインマラソン参加者募集 |
| ○9月15日(火)～10月2日(金) | スポーツ体験会の参加者募集 |
| ○11月8日(日) | スポーツ体験会の開催 |
| ○11月8日(日)～15日(日) | オンラインマラソンの実施期間 |

世田谷246スポーツフェスティバル実施内容

1. 世田谷246オンラインハーフマラソン

(1) 概要

参加者が1つの会場に集まって同時にマラソンをスタートするのではなく、全国各地でランナーが各々の場所で走行し、既存の専用のアプリケーションのGPS機能により計測した距離・タイムを大会事務局に報告する。完走者にはWeb完走証を発行する。

(2) 期間 令和2年11月8日(日)～15日(日)

(3) 種目 ハーフマラソン(21.0975km)

- ・ 完走タイプ(1回で21.0975kmを走るタイプ)
- ・ 累積タイプ(複数回に分けて21.0975kmを走るタイプ)

(4) 参加資格 完走タイプ・・・18歳以上の健康な方

累積タイプ・・・15歳以上の健康な方(中学生は除く)

- ※ 世田谷246ハーフマラソンの参加資格を有する方に加え、高校生や車いすを含む障害者など幅広い参加を可とする。
- ※ 高校生は、長距離を一度に走ることによる身体へ過度な負担を考慮し、累積タイプのみ参加を可とする。
- ※ いずれもオンラインマラソンに参加するために必要なインターネット環境等を整えられること。

(5) 参加定員 3,000名(完走タイプ、累積タイプの合計)

- ※ 個別のタイプごとの定員設定は行わない。
- ※ 先着順による選定とする。

(6) 参加費 ※①及び②を参加者が任意選択。

① 2,000円(参加経費相当分)

② 2,500円(参加経費相当分に加え、500円分は区の「世田谷区新型コロナウイルスをともに乗り越える寄附金」に充てる)

(7) 申し込み 受付・・・スポーツエントリーHPにて申し込み受付

期間・・・9月7日(月)～9月30日(水)(※定員に達し次第、締切)

(8) 参加賞等 参加者全員に参加賞(Tシャツ等)を事前送付。

完走者のうち抽選で選んだ15名程度を対象に次回の世田谷246ハーフマラソンの出走権を付与。

(9) その他

国内交流・国際交流の一環として、交流自治体や姉妹都市バンバリー市からの参加者募集について、別途関係所管と調整し検討を行う。

2. スポーツ体験会

(1) 概要

感染症対策を徹底したうえで、事前に参加者を募り、特定の会場においてマラソン・陸上競技に関係する、オリパラ競技のイベントを開催する。※参加費無料

(2) 開催日 11月8日(日)

(3) 会場・イベント内容

	駒沢オリンピック公園陸上競技場	駒沢オリンピック公園第二球技場
午前	<p>①親子かけっこ教室&障害者スポーツ体験 (10時～)</p> <p>○内容 未就学児とその保護者を対象とした走り方教室と24.6m走を行う。※40分×3回</p> <p>○定員 各回32名(事前申し込み制・抽選) ※計96名</p> <p>○対象 区内在住・在学の未就学児(年中・年長)とその保護者</p> <p>②障害者スポーツ体験(10時～)</p> <p>○内容 「車いすスラローム走」・「ブラインドウォーク」・「ビーンバッグ投げ」・「ペガールボール」の4種目</p> <p>○定員 30名(事前申し込み制・抽選)</p> <p>○対象 区内在住・在学・在勤の方</p>	<p>①ランニング教室・スポーツ体験ブース (9時30分～)</p> <p>○内容 日本人オリンピックによるアメリカ選手の動画を活用した小学生を対象としたランニング教室、車いすレーサー試乗、ブラインドサッカーPK、アーチェリー、フィールドホッケーの体験を行う。</p> <p>○定員 100名(事前申し込み制・抽選)</p> <p>○対象 区内在住・在学の小学生</p> <p>・横田 真人氏 (800m元日本記録保持者、ロンドン五輪出場)</p> <p>・マロンアジズ 航太氏 (2013年関東インカレ2部800m優勝)</p> <p>・飯島 陸斗氏 (2018年日本選手権800m第3位)</p> <p>・レオネル・マンザーノ氏 ※動画出演 (ロンドン五輪1500m銀メダリスト)</p>
午後	<p>③小・中学生、親子タイムトライアル(13時～)</p> <p>○内容 トップアスリートによるウォーミングアップと小学1～4年生と親子は800m、小学5年生～中学3年生は1600mでそれぞれタイムトライアルを行う。</p> <p>○定員 小・中学生90名(30名×3回)、親子45組(15組×3回) (事前申し込み制・抽選)</p> <p>○対象 区内在住・在学の小・中学生、親子(小学生とその保護者)</p>	<p>②リコーブラックラムズによるラグビー体験 (13時30分～)</p> <p>○内容 6月に世田谷区と連携支援協力の協定締結を行った、リコーブラックラムズの選手によるラグビー体験等を行う。</p> <p>【体験会】 パス、ラインアウト、タックル、トライの4つの体験のブースを25名ローテで体験</p> <p>【デモンストレーション】 ブラックラムズ選手による7人制ラグビー(又は15人制)のデモンストレーション</p> <p>○定員 100名(事前申し込み制・抽選)</p> <p>○対象 区内在住・在学の小学生</p>

(4) オンラインツールの活用

①動画L I V E配信

当日の様子は、会場に入ることができる観客の人数が制限されるため、オンラインを活用してスポーツ振興財団のYouTube上に動画配信し会場に来られない区民等へ配慮する。

②配信日

11月8日(日) スポーツ体験会当日 9時配信スタート

③主な配信内容

○246フェスティバル開会式の動画(事前に撮影した以下の動画を編集)

- ・区内小学生と日本女子体育大学の学生による「ひろがれ世田谷」のダンス
- ・USOPC選手からの動画メッセージ
- ・保坂区長、スポーツ振興財団石崎理事長、第15回世田谷246ハーフマラソン実行委員会野原会長によるご挨拶
- ・保坂区長によるオンラインマラソンのスターター

○イベント会場の様子(L I V E映像)

会場のイベントの様子やラグビーのデモンストレーション等、内容を絞って配信する。

※プロの司会者を配置し、中継方式で配信する。

○アメリカ選手と日本人選手のランニング教室の動画(事前に作成した動画) など

(5) 申し込み

①募集期間 9月15日(火)～10月2日(金)

②申し込み方法

インターネット(区HP、スポーツ振興財団HP)又はせたがやコールによる

(6)会場内での感染症対策

「別紙2」のとおり

【参考】

会場配置図(公益財団法人東京都スポーツ文化事業団HPより)



- バス停
- 駐車場
- 駐輪場
- 売店
- トイレ
- 障害者用トイレ
- AED
- オムツ交換台(トイレ内)
- ベビーケアルーム
- 電話ボックス

世田谷 246 スポーツフェスティバル～スポーツ体験会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策【案】

【共通事項】

- 3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を解消する工夫を徹底する。
- こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
- マスクを着用し、咳をする際には咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。

1. 主催者側がスタッフに遵守させること

- (1) イベント当日に 37 度 5 分以上の発熱や風邪の症状がある場合には従事をさせない。
- (2) 従事の際には、必ずマスクを着用し、従事内容に応じてゴム手袋も着用すること。
- (3) 手洗い・手指消毒を徹底する。
- (4) スタッフ等の昼食は、手渡しはせず、所定の場所に配置しておき、取りに行くこととする。
- (5) 下記の 2(1)①の項目に該当しないことを従事の条件とする。

2. 参加者募集時の対応

- (1) 参加者が遵守すべき事項等の周知

①健康確認書の作成・提出

以下の項目について、健康チェックを行い、イベント当日に健康確認書として提出する。

※ 1 つでも該当がある場合には、大会参加をお断りする。

- 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する。
- イベント当日の体温
- イベント前 2 週間における以下の事項の有無
 - ・ 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② 主催者が決めた会場内での感染症対策の遵守

※守られない場合には入場・参加をお断りする場合がある。

- ③大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、必ず主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

- (2) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うことの周知
- (3) イベントの開催にあつて、主催者として区は徹底した感染症対策を行うが、万一感染が発生した場合にもいかなる補償も行わないことの周知

- (4) 申し込み方法は、電子申請を基本とし、窓口での申し込み受付は行わないことの周知
- (5) イベント中に大きな声で会話、応援等をしないことの周知
- (6) 会場内では、極力唾や痰を吐かないことの周知
- (7) 参加者以外の関係者(保護者、引率者等)が遵守すべき事項の周知
 - ①参加者同様に大会当日に健康確認書を提出してもらうこと。
(提出がなければ入場をお断りする場合があります)
 - ②上記(1)～(6)について、参加者同様に順守していただくこと。
- (8) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称:COCOA)の活用を推奨する。

3. イベント当日の参加受付時の感染防止策

- (1)受付窓口には、飛沫防止シールドなどを設置、またはフェイスシールドを準備し、スタッフと来場者を遮断すること。
- (2)会場入り口前に、手指消毒剤を設置する。
- (3)参加者が距離をおいて(できるだけ2mを目安に(最低1m))並べるように目印の設置等を行うこと。
- (4)来場者の検温を実施し、37度5分以上の発熱者については、来場をお断りする。
 - ※37.0度を超える場合には、本人の体調を十分に確認したうえで来場の可否を判断する。
 - ※スタッフと参加者の接触をさけるため、受付場所付近にサーモグラフィーを配置する。
- (5)受付を行うスタッフにはマスクとゴム手袋を着用させること。
- (6)一般の見学(事前申し込みの際に連絡のなかった参加者の家族・友人等によるものも含む)による入場はお断りする。

4. 会場内の感染症対策

- (1)マスクの着用
 - スタッフ、参加者、関係者によるマスクの着用を徹底する。※競技体験中は除く
- (2)ソーシャルディスタンスの確保
 - 会場内での参加者、スタッフ、関係者が3密にならないよう、できるだけ、2m、最低1mを目安に会場内でのソーシャルディスタンスの確保を呼びかける。
 - また、観客席については、隣り合う席は使用禁止とし、1席ずつ空けての使用とする。
- (3)共有部分の消毒
 - 観覧席等の共有スペースについては、定期的に消毒を行う。
- (4)手洗い場での対応
 - ①石鹸(ポンプ型)による手指洗いをを行うこと。
 - ②手洗いは30秒以上等の表示を行うこと。
 - ③トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
 - ③共有する布タオルは使用せず、使い捨ての紙タオル等を設置すること。
 - ④手指の乾燥設備は使用不可とすること。

(5)各イベント会場での消毒液の設置

陸上競技場、第二球技場内の適切な場所に、スタッフ、参加者、関係者がイベント中に適宜手指消毒を行えるよう、消毒液を設置すること。

(6)更衣室の使用

なるべく着替えが不要な状態での参加を求め、着替えが必要な場合にも一度に利用できる人数を制限する。また、シャワールームの使用は原則禁止とする。

(7)参加者、関係者が出すゴミ類は、すべて持ち帰ってもらうこと。

(8)飲食については以下の注意点を呼びかけること。

①飲食を行う前に、必ず手洗い・手指消毒を行うよう呼びかけること。

②飲み物の飲み回しは行わないよう呼びかけること。

③周囲との適切な距離の確保を呼びかけること。

(9)参加者が順守すべき事項についてチェックリスト化し、会場内に表示する。

(10)緊急時に備え、医師・看護師を会場内に常駐させる。